

# 令和4年度 静岡福祉文化を考える会事業計画

活動テーマ：ホッとする豊かな地域づくりを拓く“共創社会”実現を探る

厳しいコロナ禍下こそ、福祉文化活動をどのように維持できるか、この2年間「見える化」「わかる化」の知恵を出し合い、つながる・支え合う地域社会づくりを検証してきた。本会の調査研究事業から「地域コミュニティ」年々、地域社会全体の個人志向化・希薄化と共に、福祉コミュニティ組織運営の難しさが浮き彫りになった。

本会の活動の原点は「災害と福祉文化」そのものである。阪神淡路大震災発生一年後、「災害と福祉文化」を追求する「地方発福祉文化の創造」の市民活動団体として結成(平成8年9月)して27年目を迎えた。

結成当初から、「3つの活動基調」を掲げてきた。

- \* 第一「専門性と市民性の融合の関わり」
- \* 第二「公開型地域総合型学習の企画と実践」
- \* 第三「課題解決のに向けたプロセス重視」

この「活動基調」をもとに、さらに、次の「3つの柱立て」をもとに25年間活動を展開してきた。

## \* 第1の柱立て「啓発学習事業」

「静岡発(地方発)福祉文化の創造」をめざして、県内各地の実践活動に学び「課題提起」をして「地域総合型啓発学習」に取り組んできた。

## \* 第2の柱立て「調査研究事業」

県民の協力により、一貫して、その時代の地域社会問題をテーマに調査研究活動に取り組み、その結果をその都度県民と共に地域総合型学習をし、課題解決に向けた議論を深めてきた。

## \* 第3の柱立て「実践地区活動事業」

広く県内各地の実践事例を共有し合い「地域診断」のもとに、確かな地域性を把握し、さまざまな実践活動を展開し、「協働」による福祉問題解決のプロセスの重要性を確認してきた。

本会は、7年間静岡県委託事業「一人でも安心して暮らせる地域づくり事業」に取り組み、「ホッとする私のご近所福祉を創る」をテーマに、「生活圏域におけるささえあい」(ご近所福祉)を議論し合い、福祉文化実践活動を展開し、「若者発 ご近所福祉かるた」(赤い羽根共同募金助成事業・鈴与マッチングギフト助成事業)を企画製作し、県内各地に、具体的な「住民福祉教育」の推進に役立つ「ご近所福祉を学ぶ」教材として有効活用した。2021年度に「若者発 ご近所福祉かるた」の増刷と「かるた利用の手引き」の発行にこぎつけて、かるた誕生から8年目を迎えた今年度は、さらに、「ご近所福祉による共創社会実現」に向けて、これまでの成果物の有効活用に努めるとともに、様々な領域における住民福祉教育として「協働による地域課題改善に向けた地域づくり」の開拓に努める。

## 1. 令和4年度全体会(総会/第1回公開型研修会)の開催

- \* 日時 令和4年5月21日(土) 13:30~15:30
- \* 会場 静岡市清水区追分3-5-17 「寄ってっ亭」
- \* 内容 研修テーマ:「静岡発福祉文化の創造」の26年間のプロセスを探る

—いまこそ、足元の福祉文化を話し合おう—

- (1) 基調報告①「静岡発福祉文化の創造」27年への挑戦、改めて“共創社会”を探る
- (2) 円卓トーク「今こそ出番 福祉文化を地域づくりの礎に」

## 2. 委員会の開催

- \* 実務型委員会構成を基に、[代表][副代表][事務局長・次長][会計][監事][委員]が一丸となって、活動の進捗状況管理と検証に努める。
- \* 原則、「公開型研修会」開催日の前段に開催する。
- \* 広く会員や一般社会人にも参加を呼び掛け「公開型学習会」として位置付ける。
- \* 必要に応じて、臨時の委員会を開催する。
- \* 2022度の委員会開催は、次の通り開催する。
  - ・第1回(211回) 4月23日(土) 13:30 静岡市清水区「寄ってっ亭」内
  - ・第2回(212回) 5月21日(土) 10:30 静岡市清水区「寄ってっ亭」内
  - ・第3回(213回) 7月23日(土) 10:30 静岡市清水区「寄ってっ亭」内
  - ・第4回(214回) 11月26日(土) 10:30 静岡市清水区「寄ってっ亭」内
  - ・第5回(215回) 2月25日(土) 10:30 静岡市清水区「寄ってっ亭」内

## 3. 研修・討議活動

### (1) 公開型学習会の開催

「定例委員会」をこれにあて、会員相互の情報交換の場及び日常的な実践活動につなげる。一般社会人参加も呼び掛ける。

### (2) 公開型研修会の開催

- \* 第1回 令和4年5月21日(土) 13:30～15:30
    - ・会場 静岡市清水区追分3-5-17 「寄ってっ亭」
    - ・研修テーマ:「静岡発福祉文化の創造」の26年間のプロセスを探る  
—いまこそ、足元の福祉文化を話し合おう—
    - ・プログラム
      - (1) 基調報告①「静岡発福祉文化の創造」27年への挑戦、改めて“共創社会”を探る
      - (2) 円卓トーク「今こそ出番 福祉文化を地域づくりの礎に」
  - \* 第2回 7月23日(土) 13:30～15:30
    - ・会場 静岡市清水区「寄ってっ亭」内
    - ・研修テーマ:「ホッとする豊かな地域づくりは誰が担う？」
    - ・プログラム
      - (1) 基調報告「若者発 ご近所福祉かるたの有効活用に学ぶ」
      - (2) 円卓トーク「これまでの尊い教訓から、コロナ明けの地域づくりを考える」
  - \* 第3回 2月25日(土) 13:30～15:30
    - ・会場 静岡市清水区「寄ってっ亭」内
    - ・研修テーマ「ホッとする豊かな地域づくりを描く」
    - ・プログラム
      - (1) 基調報告「調査から浮き彫りになったものは何か」
      - (2) 円卓トーク「私が描く、支え合う地域」
- ### (3) 「第21回静岡県福祉文化研究セミナー」の開催
- ・日 時 11月26日(土) 13:30～15:30

- ・会場 静岡市清水区追分「寄ってっ亭」
- ・研修テーマ 「“ご近所福祉”から描く福祉文化」
- ・プログラム

- (1) 基調報告「27年間の福祉文化のプロセスから見えたもの」
- (2) 円卓トーク「私の地域の今とこれからを語る」

#### 4. 調査研究活動

- (1) テーマ『ホッとする豊かな地域づくりは誰が担う？調査』の実施

\*ねらい:

「静岡福祉文化を考える会」は、この25年間「静岡発 福祉文化の創造」を目指した実践活動の大きな柱立ての一つに、その時代の地域社会を取り巻く様々な福祉課題を「調査テーマ」にした「調査研究活動」に取り組んでいる。また、その分析結果を、県内各方面での研修会や本会の公開型研修会などで公表し、世代を超えた「地域総合型学習」を通じて問題提起をし、県民一人ひとりの意識改革に努めてきた。

これまでの調査研究活動を振り返ると

- 平成 09 年度 ①「共働きに関する調査」
- 平成 10 年度 ②「私たちにとって、地域とは何かーその1ー意識と事態調査」
- 平成 11 年度 ③「私たちにとって、家族とは何か調査」
- 平成 12 年度 ④「父親に関する調査」
- 平成 13 年度 ⑤「ボランティア活動実践者意識調査」
- 平成 14 年度 ⑥「大人を対象とした生きがいと就労に関する意識調査」
- 平成 15 年度 ⑦「青少年の生きがいに関する調査」
- 平成 16 年度 ⑧「地域とは何かーその2ー意識と事態調査」
- 平成 17 年度 ⑨「子どもと社会環境に関する調査」(継続調査)
- 平成 18 年度 ⑩「子どもと社会環境に関する調査」(総括)
- 平成 19 年度 ⑪「地域活動と団塊の世代の役割に関する意識調査」
- 平成 20 年度 ⑫「長寿者の生きがい、その意識と実態に関する調査」(静岡県共同募金会助成事業)
- ⑬「日常生活と福祉情報に関する意識調査」(静岡県委託事業)
- 平成 21 年度 ⑭「長寿社会に関する県民意識と実態調査」(静岡県委託事業)
- 平成 22 年度 ⑮「いまこそ地域社会に福祉文化を拓く 生活圏域における支え合いとはなにか本音に迫る調査」(静岡県委託事業)
- 平成 23 年度 ⑯「地域と私の居場所その意識と実態調査」(静岡県委託事業)
- 平成 24 年度 ⑰「家族ってなに その意識と実態調査」(静岡県委託事業)
- 平成 25 年度 ⑱「長寿者とつながる ホットするご近所づくりその意識と実態調査」(静岡県委託事業)
- 平成 26 年度 ⑲「豊かに暮らせる地域づくりその意識と実態調査」(静岡県委託事業)
- 平成 27 年度 ⑳「若者の地域参加その意識と実態調査」
- 平成 28 年度 ㉑「ご近所福祉その意識と実態調査」
- 平成 29 年度 ㉒「居場所ってなに その意識と実態調査」
- 平成 30 年度 ㉓「子どもを育む地域づくりその意識と実態調査」(単純集計)

- 令和元年度 「子どもを育む地域づくりその意識と実態調査」  
(静岡県社協ふれあい基金助成事業・考察提言)
- 令和元年度 ㊸「256名の子どもたちに聞きました。ホッとする地域ですか」  
(静岡県社協ふれあい基金助成事業・考察提言)
- 令和2年度 ㊹「ご近所福祉その意識と実態調査」
- 令和3年度 ㊺「福祉ってなに？461名の子どもたちに聞きました調査」

と、「26のテーマ」の調査研究活動に取り組んできた。通算 27回目となる今年度は、活動テーマ:「ホッと  
する豊かなづくりを拓く、“共創社会”実現を探る」に基づき、大人対象に「ホッとする豊かな地域づくりは誰  
が担う？調査」に取り組む。

- a 調査項目は、(1)基本属性 (2)生活状況 (3)家庭・家族に関すること (4)地域社会に関すること (5) 福祉  
課題解決の体制に関すること (6)福祉社会への期待 (7)自由意見 (提言)の7項目とする。細部は「調  
査部会」で具体化する。
- b 調査の展開:(1)調査実施期間(9月～10月), (2)入力期間(10月～11月), (3)分析・考察(12月～1月),  
(4)公表(2月)を予定
- c 対 象 20歳以上の静岡県内居住者
- d 回収目標 200名程度
- e 調査依頼／配布方法 会員(現在 18名), 地域実践者 関係団体・施設, 企業

## (2)「共創社会実現研究会」の設置と運営

### ①設置目的

「活動テーマ」をもとに、本会委員会と並行して、任意の「共創社会研究会」(県内実践活動者に呼び  
かけ・3回程度開催)を設置し、実践活動から地域福祉について、広く意見を求め、具体的な課題を基  
に、これからの地域づくりへの提言をまとめる。

また、「若者発 ご近所福祉かるた」の有効方法を研究協議をする。

### ②議論した内容を、本会機関誌に掲載するとともに、本会の活動の提言としてまとめる。

また、活動状況をマスコミ等への情報提供し、広く県民に広報啓発をする。

## (3)「若者発 ご近所福祉かるた」有効活用状況の把握

2021年度事業で配布した団体・グループ等(学校、地域実践領域、学童保育、社会教育、さわやかクラ  
ブ、コミュニティ実践団体等)からの「活用レポート」を整理するとともに、現地訪問等から得た検証事項を  
まとめ、検証作業を実施するとともに、「ご近所福祉」のさらなる推進に努める。

## 5. 広報・啓発活動

### (1)「機関紙発行計画」に基づき『OUR LIFE』の発行

\*年4回 A4版 4ページ構成 上質紙印刷 500部発行

\*「地方発福祉文化の創造」論議や実践活動を会員及び関係方面に具体的に情報発信する。

各号共通記事「編集後記」「ご近所福祉コーナー」「事務局日誌拝見」

- 第 140 号(05/30) 『27年目の福祉文化実践活動の取り組み』
- 第 141 号(09/01) 『若者発 ご近所福祉かるたの活用状況報告』

- 第 142 号(12/10)『第21回セミナーを振り返る』
  - 第 143 号(03/10)『静岡発 福祉文化の創造2022年度を総括する』
- (2) 日本福祉文化学会 HP と本会ブログのリンクによる「地方発 福祉文化の創造」の発信
  - (3) 「焼津福祉文化共創研究会」ブログとの連動による「福祉文化の創造」の発信
  - (4) マスコミ, 関係機関・団体への情報提供

## 6. 「若者発 ご近所福祉かるた」の有効活用の現場実践検証

県内の「ご近所のささえあい活動」(主に「かるた」配布先の活動)の実践地区への現地訪問を通じて「地域総合型学習」として、幼児から大人まで、身近な地域における実践活動の場や行事の中で楽しみながら活用し、安心して暮らし合う生活圏域づくりめざす取り組みを検証する。

関係機関・団体との「協働」により、これまでに個人、地域実践者、施設・グループ・サロン等に配布・設置した「かるた」の活用状況を把握しご近所福祉の検証に努め、本会の「公開型研修会」で紹介し、地域社会に「ご近所福祉」を課題提起し、これからの地域社会づくりへの提言につなげる。

## 7. コミュニティ組織との連携

コミュニティ組織との連携に努め、「かるた」の配布地域の開拓とともに「ご近所福祉」について、広く地域住民の意見を把握することに努める。

## 8. 関係・団体との協働・連携

- (1) 「静岡県共同募金会」への情報提供(2021年度助成事業その後の取り組み経過報告)
- (2) 「焼津福祉文化共創研究会」との協働による諸活動の展開と、小地域福祉活動の連携による「近助」の取り組みの現場に学ぶ実践活動を県域に共有していく
- (3) 「静岡県コミュニティづくり推進協議会」との連携(「かるた」配布団体・グループ推薦と事業関連情報提供)
- (4) 「日本福祉文化学会」への情報提供
- (5) 「関連大学・専門学校」への情報提供
- (6) 「静岡市ボランティア連絡協議会」との連絡調整及び情報提供
- (7) 「ふじのくに未来財団」への情報提供
- (8) 県内外の関連研究会等と「近助」に関する情報共有
- (9) 福祉コミュニティ組織における実践的取り組みをしている地域の把握と情報交換
- (10) 「若者発 ご近所福祉かるた」配布団体・グループ等との日常的連携(施設, NPO 法人, V グループ)
- (11) 「静岡県社会福祉協議会及び市町社協」との連携(情報提供)
- (12) 公益財団法人「あしたの日本を創る協会」への情報提供
- (13) 公益財団法人「さわやか福祉財団」への情報提供